

沼津高架P Iプロジェクトの実施状況（ステップ5）に関する評価等について

沼津駅付近鉄道高架事業に関するP I委員会は、沼津高架P Iプロジェクトにおけるステップ5の実施状況について、提出資料に基づく審議並びに勉強会や車座談議の視察を通じて監視を行った。これを受け、実施状況に関して次の通り評価・助言を行う。

評価

ステップ5は、ステップ4までの議論を経て積みあがった評価軸および代替案をもとに、代替案を比較評価するステップである。ステップ5では、続くステップ6において代替案を選定するため、地域づくりの目標に照らして各代替案を客観的に評価し、多元的に予断なく比較する必要があるとともに、定量的検討を含む複雑な内容となることから、丁寧に分かりやすく伝えることや、対立を招かないようなコミュニケーションが必要である。また、公正性を期すため、比較評価の方法や用いるデータに問題がないかを第三者の立場から監査する技術検討アドバイザーの設置を要請した。

P I運営事務局は、勉強会を中心として代替案の比較評価に関するコミュニケーションを実施し、併せて車座談議、オープンハウス、ニューズレターにおける積極的な情報提供と議論を行い、よく市民ニーズの把握に努めた。また、議論の進め方については、始めに代替案の比較を行ってメリットやデメリットについて集中的に議論し、次に代替案相互の比較を行うことで、議論を整流化し、混乱や対立の回避に努めた。さらに、勉強会以外に車座談議を積極的に実施し、評価方法などの分かりにくい点についての疑問の解消に尽力した。参加者アンケートでは大きく理解が深まったとの反応もあり、プロセスをしっかりと実施できたことを大いに評価する。

また、短期間であったにも関わらず、技術検討アドバイザーを設置するとともに、始めにアドバイザーからの助言を受け、それを反映して比較評価結果を取りまとめ、さらにその技術的妥当性について改めて監査を受け、技術的検討の妥当性を確認するプロセスを実施した。その際、技術アドバイザーからの指摘に対して真摯に対応し、また、その過程では、アドバイザーに提供した情報や受けた指摘を一つひとつホームページ上に公開するなど、自らも透明で客観的で公正な運営に努めたことも評価すべき点である。

助言

- 1) ステップ6では、案の選択を巡っての単なる対立を生まないよう十分に留意しつつ、地域づくりの目標に立ち返り、互恵的な選択となるよう努めること。
- 2) 双方向のコミュニケーションを継続し、発言機会を十分に確保すること。

以上